

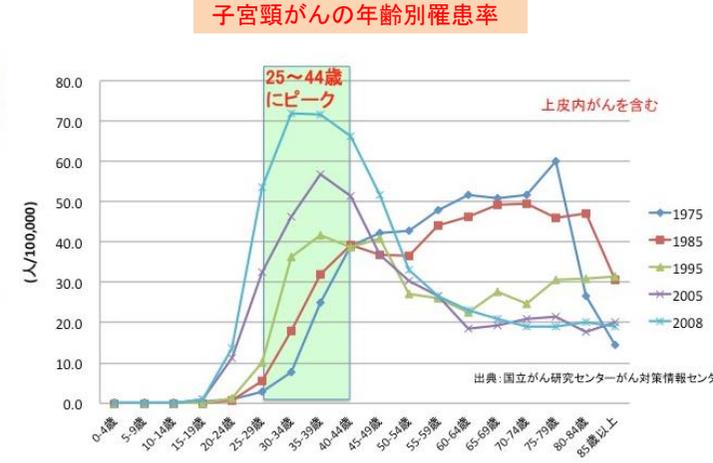


～20歳からはじめよう！2年に1度は子宮頸がん検診へ～



子宮頸がんは年間約1万人が罹患し、約2,900人が死亡しており、患者数・死亡者数とも近年増加傾向にあります。**特に、20歳～30歳代の若い世代での罹患の増加が著しいものとなっています。**

- 性交渉でのウイルス（ヒトパピローマウイルス）感染が原因で、子宮頸がんは誰でもなる可能性があります。
→ウイルス感染は珍しくなく、多くの女性が感染します。子宮頸がん予防ワクチンを過去に接種していても子宮頸がんを完全に予防することはできませんので、ワクチンを接種していても、20歳になったら定期的に検診を受けましょう。
- 症状は、出血やおりものなどがありますが、**初期には自覚症状がないため、自分では、がんであることに気づきません。**
→**早期発見のためには、子宮頸がん検診を受けることが重要です。**
気になる症状があれば、ほかの病気の可能性もあるので、早めに婦人科で診察を受けることも大切です。



「まだ若い」からといって、安心できません。

……子宮頸がん検診の流れ……

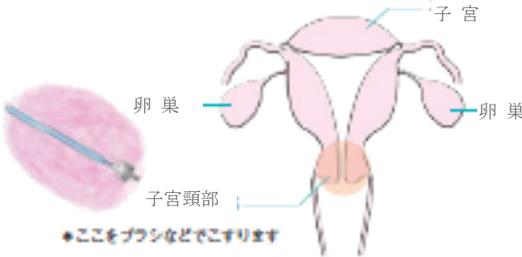
- STEP1 まずは検査の予約をしましょう
- STEP2 当日は問診からスタート
- STEP3 検診（内診）
- STEP4 細胞診**
- STEP5 検査の結果を待ちましょう



ほんの1～2分で終わり、痛みはほとんどありません。細胞の標本は顕微鏡検査に提出され、判定が行われます

<細胞診について>

細胞診では、前がん病変（がんの一手前）でみつけることもできます。**病変が上皮のみにとどまる早期に発見すれば、完治する可能性が極めて高く、子宮頸部を一部切除するだけで子宮を残すことができ、妊娠・出産も可能です。**発見が遅れ進行すると、子宮や周辺の臓器をとるようになります。**何より早期発見が大切**です。



子宮頸がん検診を受けるには？

市区町村の検診の場合、費用の補助があります。住民票がある市区町村での申し込みになります。集団検診を実施しているところもあります。**詳しくは、各市町村に確認してください。**

ここでは、北九州市の検診について案内します。（以下、北九州市 HP より抜粋）

- 対象者：20歳以上の女性の北九州市民 ※20歳の方には無料クーポン配布（今後は不明）
- 検診内容：視診、細胞診、内診
- 受診回数：1年度に1回（国の指針では2年に1回ですが、北九州市では1年度に1回可。）
- 受診料：1,000円（市民税非課税世帯・生活保護世帯の方は受診料が免除されます。）

各自で指定の医療機関に検診の予約をします。
指定医療機関については、「北九州市 子宮頸がん検診」で検索を！

（参考）

- 国立がんセンターがん情報サービス <https://ganjoho.jp/>
- 北九州市がん検診 <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/17200120.html?vm=r>

